



日本学校心理士会 2009 年度大会のご案内

◇大会テーマ◇

『理解から支援へ～学校心理士の新しいアイデンティティ』

— ご あ い さ つ —

日本学校心理士会第4回の全国大会（2009年度大会）を、再び大阪で開催することになりました。本会が発足して12年目となり、学校心理士の数も4000名近くになり、社会的認知も高まってきました。これも一重に会員のご理解とご支援の賜であり、また、会員の各支部、地域でのご活躍によるものと確信しています。

今日、学校教育を取り巻く状況は、じっくりと長い目で取り組むことを阻むような、対処療法が必要な問題が次々と発生してきます。いじめ、不登校、非行、児童虐待等の問題は一向に減少しません。さらに、小学生から大学生にいたる学力低下や学級経営や学級指導に関連する教師・保護者の問題など、困難な状況が増加しています。

このような状況の中で、教育委員会や学校は、スクールカウンセラーや巡回相談員、特別教育支援の教員、スクールソーシャルワーカーなどを配置して、一人ひとりの子どもの望ましい発達を促進させる施策を講じています。

今回のテーマについて準備委員会で自由な議論をし、表題の「理解から支援へ～学校心理士の新しいアイデンティティ」としました。学校心理士自らが新しい認識を持ち、学校心理士の活動の軸を、子ども、学級、教師、学校、保護者、社会についての適切な理解をもとに、実践的な支援に移すべきではないかということです。私ども準備委員会は、これまでの研修の取り組みをベースに、子どもたちにとって必要な支援のあり方と方法を、教育現場を通じて学ぶことが大切であると考えました。今大会の基調講演と研修は、このような考えに基づいて、理解から支援に踏み込む学校心理士のあり方、すなわち、学校心理士の新しいアイデンティティ形成の第一歩と考えています。

多くの学校心理士のご参加をお待ちしています。そこで、積極的な議論が盛り上がることを心から念願しています。

2009年4月1日

日本学校心理士会2009年度大会準備委員会

委員長 松浦 宏

(日本学校心理士会会長・大阪支部長)

I 会期・会場

1. 会期 2009（平成21）年8月10日（月）、11日（火）の2日間
2. 会場 エル・おおさか（大阪府立労働センター）
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14
3. 主催 日本学校心理士会（大阪支部・兵庫支部）
4. 後援 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国特別支援学校長会他（予定）
学会連合資格「学校心理士」認定運営機構（日本教育心理学会・日本特殊教育学会・日本発達障害学会・日本発達心理学会・日本LD学会・日本学校心理学会・日本応用教育心理学会・日本生徒指導学会・日本学校カウンセリング学会）大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会・京都府教育委員会・滋賀県教育委員会・奈良県教育委員会・和歌山県教育委員会（各教育委員会は予定）

Ⅱ プログラム

【第1日 8/10 (月)】

- ◇開 会 (9:30～10:00 エル・シアター)
文部科学省、大阪府教育委員会等からのご挨拶があります。
- ◇基調講演 (10:00～12:00 エル・シアター)
『学校心理士の新しいアイデンティティを創出する』
松浦 宏 (大阪教育大学名誉教授)・塩見邦雄 (兵庫教育大学名誉教授)・石隈利紀 (筑波大学教授)
- ◇ポスター発表 (13:30～17:00 南ホール)
ポスター発表 (在籍時間+討論、A 14:00～15:30、B 15:30～17:00)

- ◇懇親会 (17:30～19:30 10階宴会場 梅・寿) 多くの方の参加による懇親の場です。

- ◆学校心理士養成等連絡協議会 (13:00～14:45 南72号室) 該当者のみ
- ◆幹事会 (15:00～17:00 南72号室) 該当者のみ

【第2日 8/11 (火)】

- ◇研 修：午前の部 (9:30～11:30)
 1. 「学校心理学におけるアセスメント～ DN-CAS を中心として～」
〔講師：伊丹昌一 (大阪府教育センター)〕
 2. 「コーディネーション：チーム援助」
〔講師：上村恵津子 (信州大学)〕
 3. 「個別の学習援助」
〔講師：岡 直樹 (広島大学)〕
 4. 「発達障害児の早期発見と早期支援～医療の視点から～」
〔講師：安原昭博 (安原こどもクリニック)〕
 5. 「学校心理士の役割としての生徒指導の進め方」
〔講師：八並光俊 (東京理科大学)〕
 6. 「学校心理学におけるリサーチ及びレポート作成方法」
〔講師：水野治久 (大阪教育大学)〕

- 総 会 (12:30～13:30) 会 場： 南ホール (南館216号室)

- ◇研 修：午後の部 (14:00～16:00)
 1. 「WISC Ⅲによる認知特性を生かした学習支援
特別支援教室及び通常学級での指導事例を通して～」
〔講師：西岡広樹 (和泉市立南池田小学校)、寶めぐみ (羽曳野市立白鳥小学校)〕
 2. 「活力ある学級集団を支えるコンサルテーション」
〔講師：蘭 千壽 (千葉大学)〕
 3. 「ピア・サポートプログラム～“子ども”という援助資源を活かす学校づくり～」
〔講師：菱田準子 (大阪市教育センター)〕
 4. 「社会性と情動の学習 (SEL) の学校への導入と展開」
〔講師：小泉令三 (福岡教育大学)〕
 5. 「心理教育～「こころの授業」～」
〔講師：塩見邦雄 (兵庫教育大学名誉教授)、川島範明 (滋賀県立安曇川高等学校)、
多田智恵子 (夙川学院短期大学)、高居美鈴 (京都市立音羽川小学校)〕
 6. 「脳の仕組みと働きからみた教室での支援」
〔講師：八田武志 (関西福祉科学大学)〕

Ⅲ ポスター発表について

1. 発表の方法

発表内容をポスター形式で掲示し、それをもとに発表者と質問者の間で個別に討議していただきます。

2. 発表の要件

「大会論文集への論文掲載」「ポスターの展示」「討論への参加」という3条件をすべて満たすことによって公式発表として認められます。

3. 発表資格

- ① 会員として研究を発表する方は、2009年5月31日現在、日本学校心理士会の正会員でなければなりません（平成20年度学校心理士・学校心理士（補）の資格審査に合格し、会費を支払った方も含みます）。
- ② 会員以外の方でも連名発表者になることはできます。その場合、責任発表者が、非会員の連名発表の申込みおよび連名発表費（会員外）を納入していただくことになります。
- ③ 責任発表者（単独発表を含む）になるのは一人1回に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。なお、連名発表者に関しては、プログラムの編成上、時間が重なる場合があることをご承知おきください。
- ④ 責任発表者は、発表申込書、論文集原稿、参加費を所定の期日までに送付済みでなければなりません。

※原稿作成につきましては、「発表論文集印刷原稿作成要領」（5頁～6頁）をご覧ください。

Ⅳ 諸手続き

この通信には、以下を同封しております。

- ㊦日本学校心理士会2009年度大会のご案内（本紙）
- ㊧日本学校心理士会2009年度大会参加申込用紙
- ㊨日本学校心理士会2009年度大会ポスター発表編成票
- ㊩申込用紙・編成票返信用封筒（ポスター発表をしない方は参加申込用紙のみを返信してください。）
- ㊪参加費等払込取扱票

1. 参加申込について

「日本学校心理士会2009年度大会参加申込用紙」（㊧）に必要事項を記入し、同封の返信用封筒（㊩）に80円切手を貼り、**2009年5月11日（月）（当日消印有効）**までにご返送ください。研修会場は、各室とも座席数に制限があり、期限後または当日に申し込まれても、研修に参加できないことがありますので、期限までに参加申込をしてください。

なお、参加申込みの状況は、適宜、学会連合資格「学校心理士」認定運営機構のホームページ（URL:<http://gakkoushinnrishi.jp/>）でご確認ください。

2. ポスター発表申込について

- ① ポスター発表を希望される方は「日本学校心理士会2009年度大会ポスター発表編成票」（㊨）に必要事項を記入し、参加申込用紙（㊧）とともに**2009年5月11日（月）（当日消印有効）**までにご返送ください。
- ② ポスター発表編成票には、論文原稿と同じ題目（副題）・所属・氏名を記入してください。
- ③ ポスター発表編成票は、プログラム編成の参考にいたします。発表要旨（100字程度）を書き、さらに、発表内容をよく表現していると思われるキーワードを3個書いてください。
- ④ ポスター発表編成票には、責任発表者名、連名発表者名を漏れなく記入し、ふりがなをふってください。記入欄が足りない場合は、コピー等で同様に作成して添付してください。1つの枠内に2名以上を記入することはできません。また、会員以外の連名者の方には氏名の後に#印を付けてください。

3. 基調講演及び研修会の申込みについて

- (1) 基調講演の申込みは、参加申込用紙の基調講演欄の参加希望の「希望する」に○をつけてください。
- (2) 研修会の申し込みは、午前の部、午後の部に各6コマを設定しています。午前、午後別に、第1希望、第2希望、第3希望までを選んで、該当する欄に○印を入れてください。研修は申込先着順に決定し、定員を超えた場合は、第2希望、第3希望になりますので、予めご了承ください。

4. 諸費用払込みについて

事前予約参加者、ポスター発表者は、**2009年6月1日(月)**までに、同封の払込取扱票(㊦)を用いて、下記に示す諸費用を払い込んでください。払い込みの確認ができた方から、研修の受付、ポスター発表の受付を行います。

※郵便局備え付けの払込用紙をご利用の場合、金額の内訳を明記の上、以下の口座にお振込みください。

口座記号番号 00940-5-142719

加入者名 学校心理士2009年度大会

※払い込まれた諸費用につきましては、ポスター発表不採用の場合を除き、原則として返却できません。あらかじめご了承ください。

参加費用一覧

費 目	払込者	料 金	備 考
大会参加費 (事前予約手続きを完了する場合)	会 員	8,000 円	入金確認後に領収書と予約参加証を送付します。論文集1冊分の代金を含みます。基調講演・ポスター発表・研修会のすべてに参加できます。
当日参加費 (期限後、又は大会当日の参加手続きをする場合)	会 員	9,000 円	参加申込期限後に、又は大会当日に参加申込をする場合で、事前予約で空席のある場合(基調講演・研修)に限り受け付けます。
連名発表費	会 員	8,000 円	大会に参加しないで、ポスター発表の連名だけの場合も「大会参加」扱いとなります。論文集1冊分の代金を含みます。
	会員外	3,000 円	責任発表者(原則として会員)は送金明細書に会員外連名発表者を記入して、その人数分の料金を支払ってください。会員の方が発表できない場合にのみ、会員外の方の発表が可能です。
懇親会参加費	会 員 会員外	4,000 円	事前の予約を承ります。全国の学校心理士と懇親を深めましょう。残席がある場合は、当日参加の受け付けもいたします。

※上記以外の料金

ポスター発表の写真掲載料

ポスター発表の論文に写真を掲載する場合には、写真1点につき別途500円の費用が必要です。ポスター発表者(連名の場合は代表者)は、掲載点数に応じて、論文原稿提出と同時に相当料金を振り込んでください。[振込用紙は郵便局で]

5. 申込期限

基調講演・ポスター発表・研修会参加の申込期限	2009年5月11日（月）当日消印有効
諸費用の払込期限	2009年6月1日（月）当日消印有効
ポスター発表論文原稿の送付期限	2009年6月15日（月）当日消印有効

V 大会に関する連絡先

日本学校心理士会 2009 年度大会準備委員会

大阪教育大学 学校教育講座 林 龍平

FAX : 072-978-3466

Email: jasp200908@gmail.com

※ご連絡は、できるだけE-mail をお願いいたします。

VI ホームページ

学会連合資格「学校心理士」認定運営機構のホームページにて、順次情報を更新する予定です。
<http://www.gakkoushinrishi.jp/>をご覧ください。

VII その他

1. 幹事会を1日目（8月10日（月））15:00～17:00に予定しています。
2. 展示：出版社やメーカーによる図書・機器の展示を行う予定です。
3. 託児施設：設備の関係上、託児室の設置はございません。
4. 本大会は、学校心理士資格更新ポイント（更新表A）の対象になります。ポイントの詳細は、学会連合資格「学校心理士」認定運営機構のホームページに掲載します。

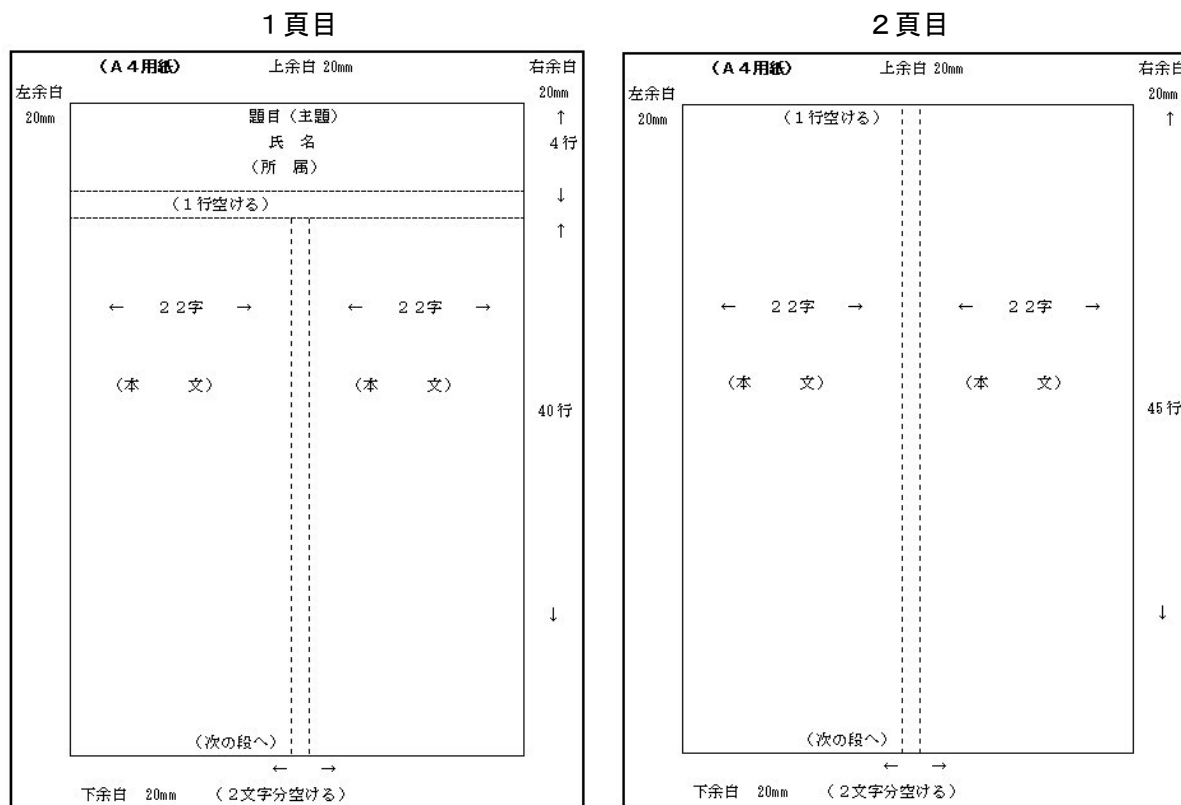
VIII ポスター発表論文原稿作成要領

1. ポスター発表論文原稿作成手順
 - ①論文集原稿の用紙（A4判コピー用紙）は各自で用意してください。
 - ②パソコンのワープロソフトなどで原稿を作成し、黒インクで印字してください。
 - ③原則として、研究の目的、方法、結果、考察等の項目に分けて記述してください。なお、事例発表には、プライバシーへの配慮をお願いいたします。
 - ④発表1件あたりの制限とその割り付けは、論文集の見開き2ページを当てます。原稿は、A4判、横書き、2段組とし、1ページ目に題目、発表者氏名、所属機関名を記載し、2ページ目は論文のみとしてください（レイアウト図を参照ください）。なお、実際の論文集の大きさはB5判になります。
 - ⑤題目・氏名・所属・本文の記入方法（上図を参照してください）
 - a) 「題目」は、4倍角（普通の文字[全角]の2×2字分）程度の大きさで、上から第1行目と第2行目に記述する。
 - b) 「氏名」は、第3行目に記述する。また、連名の場合には責任発表者の氏名の前に○印を付ける。
 - c) 「所属」は、第4行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。
 - d) 「本文」は、「所属」の行から1行空けたところ（第6行目）から書き始める。
 - e) 会員外の連名発表者については氏名の後に#印を付ける。
 - ⑥図と表の記入法
印刷して仕上がったときの縦横の縮小率は、原稿を1とすれば、約0.9です。この点を考慮して作成してください。図や表の記載についての制限はありませんが、すべてが印字の枠の中に収まるようにしてください。具体的には、原稿に直接書き入れるか、別紙に黒インクで書いたものを貼り付けてください。

⑦文中写真

写真は図として扱いますが、原稿用紙に貼り込まないで、氏名、写真（図）番号、見出し、印刷仕上がり時（B5判に縮小した場合）の縦・横の長さの指定を写真の裏面に記入して、原稿に同封してください。なお、原稿用紙に写真を貼り込むスペースを空けておくとともに、写真（図）番号や見出しを記入しておいてください。その際、原稿用紙には、縦・横ともに指定した長さの1.5倍のスペースを残すようにしてください。

〔レイアウト図（A4判縦置き）〕



※上図に示した行数および1行の文字数は、おおよその目安とお考えください。ただし、指定の行数±3行、指定の文字数±3字の範囲内でお書きください。

2. ポスター発表論文原稿送付について

①原稿送付の際、以下の物一式を同封し、簡易書留にて大会準備委員会にお送りください。

- a) 論文原稿（A4判）×1通
- b) 原稿のコピー（A4判）×2通 ※1通は、プログラム編成用に使用します。

【原稿送付先】

〒582-8582 柏原市旭ヶ丘 4-698-1
 大阪教育大学 学校教育講座
 林 龍平研究室
 日本学校心理士会 2009 年度大会準備委員会

表書きに「ポスター発表原稿在中」と朱書きしてください。

②ポスター発表論文原稿締切日は2009年6月15日（月）（当日消印有効）です。

期限厳守をお願いいたします。

③お送りいただいた原稿は、原則としてお返しいたしません。あらかじめご了承ください。

※大会当日に使用する掲示用のポスター発表論文は、各自ご用意の上、大会当日ご持参下さい。

主要駅から「天満橋」駅（地下鉄・京阪電車）までの交通路線

「新大阪駅」から

地下鉄御堂筋線「新大阪」→「淀屋橋」（のりかえ）京阪電車「淀屋橋」→「天満橋」

地下鉄御堂筋線「新大阪」→「梅田」（のりかえ）地下鉄谷町線「東梅田」→「天満橋」

「JR大阪駅」から

地下鉄谷町線「東梅田」→「天満橋」

「なんば駅」から

地下鉄御堂筋線「なんば」→「淀屋橋」（のりかえ）京阪電車「淀屋橋」→「天満橋」

地下鉄千日前線「なんば」→「谷町九丁目」（のりかえ）地下鉄谷町線「谷町九丁目」→「天満橋」

「天王寺駅」から

地下鉄谷町線「天王寺」→「天満橋」

地下鉄御堂筋線「天王寺」→「淀屋橋」（のりかえ）京阪電車「淀屋橋」→「天満橋」

